

# お山参詣

山道地区住民が弥生画を奉納



▲本殿では参加者全員でご祈祷



▲登山囃子に合わせ本殿へと行進



▲古いしめ縄が外され、新しいしめ縄が飾られました

お山参詣二日目の九月十日(月)、山道地区の住民と胡桃館小学校の四、五、六年生の総勢百三十人が、弥生画、大しめ縄、御幣を岩木山神社へ奉納しました。

一行は午前九時三十分百沢小学校を出発し、登山囃子を奏でながら「サイギ、サイギ」の掛け声とともに奉納物を岩木山神社まで運びました。本殿に到着後、一行はご祈祷をもらい、弥生画と大しめ縄を本殿に飾り、五穀豊穣と平和を祈りました。



## 山道地区とお参詣

山道地区行政推進員

一戸 信行さん

五穀豊穣と平和を願い今年もお山参詣が行われました。岩木山神社と大きく染め抜いた巨大なほりや、大御幣に囃子手が続く豪壮華麗さは言うまでもありません。

山道地区では三年ごとに大しめ縄の奉納を行ってきましたが、今年は平成七年に献上した弥生画の修復をし、大黒様の絵柄の弥生画と大しめ縄を九月十日のお山参詣で奉納しました。

胡桃館小学校の四、五、六年生たちや二十七人の登山囃子とともに総勢百三十人の方々に参加していただき、これまでではくんどきいた山道の伝統を続けられたことにはほっとしているところです。

山道では昭和三十一年にお山参詣を始めて以来、大注連縄(しめ縄)、弥生画(三代目)、社名旗(岩木山神社旗)、金幣を奉納するなど、郷土の伝統文化を継承してきました。子どもたちに少しでも郷土の思い出になればと後々まで続けていきたいです。

にぎやかなお山参詣も終わると津軽平野も秋の色が深まり実りの秋。農家は厳しいながらも一年の苦労が実る季節となります。古き良き思い出に丸となってくれた皆さんに感謝しています。